

令和4年度第2回岩手県発達障がい者支援体制整備検討委員会・広域特別支援連携協議会

県教育委員会事務局学校教育室資料

令和4年度いわて特別支援教育推進プラン等施策の取組状況について

平成31年3月に策定した「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、「つなぐ」、「いかす」、「支える」の三つのキーワードごとの施策の方向性と具体的施策により「共に学び、共に育つ教育」の推進を図り、すべての人が互いを尊重し、心豊かに主体的に生活することのできる共生社会の実現を目指す。

令和4年度における推進状況 ★新規・重点施策 ○継続施策

つなぐ ～就学から卒業までの一貫した支援の充実～

★「教育支援のためのガイドライン」に基づく早期からの教育相談・支援

☑「市町村教育支援担当者研修会」の実施【済】

令和4年5月16日（月）総合教育センターから配信し、オンラインで実施した。県内各市町村教育委員会に教育支援の進め方に関する資料送付及び指導主事会議等での説明等を繰り返し行っている。

☑教育支援に係るリーフレット等の作成・活用による、就学や福祉に関する保護者への事前の情報提供・就学支援【取組中】

各市町村等において就学に関するリーフレット等の作成・活用が進められてきている。市町村の実情を踏まえながら福祉に関する情報を盛り込んだり、ホームページで広く周知したりと、年々充実した取組となってきている。

★引継ぎシート等の活用による継続した支援

☑引継ぎシートの取組【取組中】

学校間や学校と医療機関をつなぐ「引継ぎシート」（令和2年度開発）及び「引継ぎシート作成・活用ガイドブック」について、令和2年4月6日に関係機関等に送付し、活用について周知を図った。また、指導主事会議等で繰り返し周知を図っている。

「引継ぎシート」を活用した小学校から中学校への引継ぎ、中学校から高等学校への引継ぎは、令和3年度中学校・高等学校入学生から行っており、学校から医療・福祉機関等への引継ぎは、必要が生じた際に速やかに活用するものとしている。

★特別支援学校等と地域企業等との連携

☑企業との連携協議会の実施【取組中】

事業所・企業に特別支援学校や障がいのある生徒への理解促進・就労への協力等を得るために、地域の特別支援学校と企業との連携協議会を設立し、各地区で年2回程度開催した。

全県で9地区114社・事業所等の協力を得ながら取り組んでいる。

地区名	担当学校名	参加企業・事業所数
盛岡	盛岡峰南高等支援、盛岡みたけ支援、盛岡ひがし支援	29
花巻・北上・遠野	花巻清風支援	19
奥州	前沢明峰支援	7

一関	一関清明支援	11
大船渡・陸前高田	気仙光陵支援	8
釜石	釜石祥雲支援	23
宮古	宮古恵風支援	6
久慈	久慈拓陽支援	46
二戸	盛岡みたけ支援二戸分教室	27

※令和4年12月末現在 延べ数

☑サポーター企業の周知・表彰【取組中】

特別支援学校高等部に在籍する生徒の就業体験等の受入れ支援を行っている企業（令和4年11月30日現在 127企業等）を県民に広く周知するとともに、登録から5年間継続して支援をいただいている企業等に対して感謝状を贈呈した。

○特別支援学校技能認定会を活用した教育活動

☑特別支援学校技能認定会の実施【済】

特別支援学校高等部生徒の働くために必要な技能や態度、意欲などの向上を図るとともに、企業や関係機関の生徒理解や実習及び雇用機会の拡大を図ることを目的に、平成29年度から技能認定会を実施している。昨年度から県内4会場での分散開催とし、より地域に根差した事業となるように進めた。

〔二戸・盛岡会場〕 令和4年11月16日（水） 盛岡タカヤアリーナ

- ・技能認定種目 物品管理、清掃
- ・参加者 二戸・盛岡地区特別支援学校高等部生徒 42名
- ・協力企業等 22企業等 ※審査員として協力

〔中部・県南会場〕 令和4年12月7日（水） 県南青少年の家

- ・技能認定種目 事務補助、清掃
- ・参加者 花巻清風・前沢明峰・一関清明支援学校高等部生徒 17名
- ・協力企業等 8企業等 ※審査員として協力

〔沿岸北部会場〕 令和4年7月15日（金） 久慈拓陽支援学校

- ・技能認定種目 総合実務
- ・参加者 宮古恵風・久慈拓陽支援学校高等部生徒 20名
- ・協力企業等 13企業等 ※審査員として協力

〔沿岸南部会場〕 令和4年11月29日（火） 気仙光陵支援学校

- ・技能認定種目 会場設営
- ・参加者 気仙光陵・釜石祥雲支援学校高等部生徒 10名
- ・協力企業等 6企業等 ※審査員として協力

つなぐ ～就学から卒業までの一貫した支援の充実～

【成果】

- ・市町村における教育支援に係るリーフレットや、引継ぎシート等の作成・活用など、市町村の実情に応じながら早期からの支援体制の整備に関わる具体的施策を展開し、教育上特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対する指導内容や支援方法等が進級や進学の際に引き継がれることにより、幼児期から高等学校までの一貫した支援の充実につながってきている。
- ・企業との連携協議会参加企業やサポーター登録企業が着実に増加し、また、4地域による技能認定会の開催としたことで、より地域に根差した取組となってきた。

【課題】

- ・本県が進めている具体的施策についての情報提供を行いながら、各圏域・市町村の実情に応じて、早期からの継続した教育支援体制や、就労支援体制の構築、進路・就労先の拡大に努めていく。

いかす ～各校種における指導・支援の充実～

○継続型訪問支援・随時相談支援を活用した指導・支援

☑継続型訪問支援・随時相談支援の実施【取組中】

小・中・義務教育学校の通常の学級、特別支援学級、幼稚園（保育所、認定こども園含む）80校園を対象に、年間3回程度の継続型訪問支援を実施している。

そのほか、特別支援学校による地域支援の一環として、すべての校園を対象に随時相談支援を実施している。

★地域における特別支援教育コーディネーター連絡会を活用した指導・支援

☑特別支援教育コーディネーター連絡会による研修等の実施【取組中】

県内6地区において特別支援学校と小中学校等の特別支援教育コーディネーターを対象とした研修会を実施した（盛岡中央地区については、代替措置実施）。

今年度においては、感染症拡大防止の観点から内容や会場の調整、参加対象の限定等、可能な限り運営を工夫しながら実施した。

〔盛岡北地区〕令和4年7月25日（月）盛岡みたけ支援学校 参加者18名
講 義「自閉スペクトラム症のある子どもの理解と支援」
フリーランス教育コンサルタント 松田一子氏

〔盛岡中央地区〕令和4年4月20日（水）都南公民館 参加者85名
説 明「特別支援教育の推進について」
盛岡市教育委員会学校教育課（主任）指導主事より説明

〔盛岡南地区〕令和4年8月5日（金）岩手大学教育学部附属特別支援学校 参加者13名
講 義「実行機能の理解と支援」
岩手大学教育学部特別支援教育科 准教授 鈴木恵太氏

〔中部・県南地区〕令和4年8月5日（金）3会場によるサテライト開催
一関清明支援学校 参加者31名
前沢明峰支援学校 参加者23名
花巻清風支援学校 参加者49名
講 義「教育における関係機関の一つとしての医療機関との連携について」
社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院理事長 智田文徳氏

〔沿岸3地区〕令和4年12月12日（月）大槌町文化交流センターおしゃっち 参加者82名
講 義「気になる行動と見立て～支援方法について～」
発達障がい沿岸センター 副所長 佐藤友紀氏

〔県北地区〕令和4年8月5日（水）久慈地区合同庁舎
講 義「特別な支援の必要な幼児児童生徒の就学・進路実現に向けて
～合意形成の過程における「本人主体」と「スケールシート」～」
岩手大学教育学研究科 准教授 佐々木全氏

※ 大雨災害のため中止

☑特別支援教育中核コーディネーターの養成・委嘱、活用【取組中】

地域における特別支援教育の推進的役割を担う小中学校等の教員が、各教育事務所長から特別支援教育中核コーディネーターの委嘱を受け、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターと連携を図りながら各校の支援に携わっている（令和4年12月末現在32名）。

特別支援教育中核コーディネーターの専門性向上を図るため、本県と事業連携協定を締結している塩野義製薬株式会社との共催により研修会を開催した。

〔特別支援教育中核コーディネーター研修会〕

令和4年11月24日（木）オンライン研修 参加者25名

講義・演習「WISC-IV結果の解釈と支援」

NPO法人ADDS 共同代表 心理学博士 熊 仁美 氏

令和4年12月9日（金）オンライン研修 参加者23名

講義・演習「不応行動の見取りと支援」

帝京大学文学部心理学科 教授 黒田 美保 氏

○エリアコーディネーターの配置・運用

☑エリアコーディネーターの配置・運用【取組中】

各教育事務所内の特別支援学校1校、合計6名を配置し、地域の特別支援教育の推進に向けて、教育事務所や市町村教育委員会業務への支援、関係機関や関係者との連絡・調整に関する支援を行っている。

・対応延べ件数：497件（内訳 支援・教育相談関係：263件 研修関係：234件）

※令和4年12月末現在

○各校種や地域の実情・ニーズに応じた研修

☑特別支援教育支援員スキルアップ研修会

令和4年7月28日（木） ふれあいランド岩手 参加者74名

☑高等学校特別支援教育コーディネーター研修

令和4年6月28日（火） 総合教育センター 参加者76名

★特別支援学級・通級による指導担当教員を対象とした継続的な研修

☑継続型ステップアップ研修の実施【済】

特別支援教育新任担当、2年目担当、3年目担当（令和2年度から）を対象とした継続型の研修を実施し、修了者67名に特別支援教育担当A級を認定した。そのほか、申請者10名に特別支援教育担当A級、申請者1名に特別支援教育SVを認定した。

- 【1年目】特別研修（新任研修）「担任・担当としての基礎力形成」
 - ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ（前期）・・・教育事務所実施
 - イ 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ（後期）・・・総合教育センター実施
 - ウ その他
希望研修として、特別支援教育新任担当教員研修講座（スタート研）を年度当初に実施
- 【2年目】特別研修（教職専門等研修）「担任・担当としての実践力向上」
 - ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅱ・・・総合教育センター、特別支援学校実施
- 【3年目】特別研修（教職専門等研修）「学校組織による特別支援教育の推進」
 - ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅲ・・・総合教育センター実施

★すべての校種における交流及び共同学習

☑「交流籍」を活用した交流及び共同学習の円滑な実施【取組中】

特別支援学校の小・中学部に在籍する児童生徒が、居住する地域との関わりを充実させるために、居住する地域の小・中学校に副次的な籍である「交流籍」を位置付け、居住地校との交流及び共同学習を推進している。

小・中学部を設置しているすべての県立特別支援学校から、年度当初317名（前年比12名減）の申請があり、各校や児童生徒の実情に即した取組を進めている。

☑各年齢段階での交流及び共同学習の実施【取組中】

幼稚園段階においては、特別支援学校に通学する幼児と近隣幼稚園等や居住地の幼稚園等との交流及び共同学習を実施している。高等学校段階においては、特別支援学校と近隣高等学校との交流及び共同学習を実施するとともに、スポーツ・文化芸術活動を通じた交流及び共同学習についても取組を広げていく。

いかす ～各校種における指導・支援の充実～

【成果】

- ・今般の感染症拡大防止に努めながら、可能な限りすべての校種における特別支援教育体制や指導・支援に関する相談体制の整備等に焦点を当てた具体的施策を展開し、地域資源の活用や各校種間の連携を図りながら特別支援教育体制の改善に努め、教育上特別な支援を必要とする幼児児童生徒の生活や学習の充実を図ることができた。
- ・各校種の特別支援教育の推進を支える教職員の専門性の向上について、地域のニーズや学校現場の現状等を踏まえ、関係機関の協力のもと必要な研修会に取り組むなどの具体的施策を展開することができた。

【課題】

- ・階層的な相談支援体制の整備等については、各圏域や市町村の取組等の情報共有を図りながら地域の実情に応じた相談支援体制の構築を図っていく必要があること。
- ・教職員の専門性の向上についての研修内容については、教職員や地域のニーズや現状等を踏まえ、研修テーマや研修内容の見直しを図りながら充実した内容となるよう取り組んでいくこと。

支える ～教育環境の充実・県民理解の促進～

★特別支援学級・通級指導教室の総合的観点による整備

☑特別支援学級・通級指導教室の整備推進【済】

特別支援学級の状況（令和4年5月1日現在）

（単位：人、学級）

障がい種別	小学校・義務教育学校前期課程				中学校・義務教育学校前期課程				計			
	児童数	前年度比	学級数	前年度比	生徒数	前年度比	学級数	前年度比	児童生徒数	前年度比	学級数	前年度比
弱視	11	4	11	3	2	-1	2	-1	13	3	13	2
難聴	27	-5	19	-2	15	4	13	4	42	-1	32	2
知的障がい	1,007	53	274	5	457	24	130	1	1,464	77	404	6
肢体不自由	33	0	25	0	14	-6	10	-5	47	-6	35	-5
病弱・身体虚弱	46	3	34	6	21	1	17	1	67	4	51	7
自閉症・情緒障がい	916	61	263	16	463	39	133	6	1,379	100	396	22
計	2,040	116	626	28	972	61	305	6	3,012	177	931	34

通級指導教室の状況（令和4年5月1日現在）

（単位：人、教室）

障がい種別	小学校・義務教育学校前期課程				中学校・義務教育学校前期課程				計			
	児童数	前年度比	教室数	前年度比	生徒数	前年度比	教室数	前年度比	児童生徒数	前年度比	教室数	前年度比
難聴・言語障がい	1,189	76	87	0	3	-2	1	0	1,192	74	88	0
LD等	185	8	16	0	87	-1	12	0	272	7	28	0
計	1,374	84	103	0	90	-3	13	0	1,464	81	116	0

○特別支援教育支援員等の総合的観点による配置

☑特別支援教育支援員等の配置【済】

県立高等学校 34 校に 34 名の特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を必要とする生徒への学習や生活上の支援にあたっている。

○外部専門家の活用

☑スクールソーシャルワーカー等による福祉機関等とのネットワーク活用【取組中】

各教育事務所にスクールソーシャルワーカー24名を配置し、問題行動等の未然防止・早期発見及び関係機関等との連絡・調整等を行っている。

県立学校については、岩手県社会福祉士会に業務を委託し、各学校の依頼による出張相談・電話相談を行っている。

☑スクールカウンセラーによる心のケア【取組中】

各学校にスクールカウンセラーを派遣し、心理的な不安等を抱える児童生徒及び教職員、保護者等への支援の充実を図っている。

☑特別支援学校等における各種技能士等の活用【取組中】

各校の教育課程等を踏まえた要望により、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視機能訓練士等を派遣し、教育活動の充実につなげている。

配置人数	年間時数
26名	1,098時間

★特別支援学校の整備推進

☑特別支援学校整備計画の策定と推進【取組中】

令和3年5月に策定した特別支援学校整備計画に基づき、特別支援学校の教育環境の整備について推進している。

特別支援学校の状況（令和4年5月1日現在）

（単位：人、学級）

学校名		幼稚部		小学部		中学部		高等部		専攻科		合計	
		幼児	学級	児童	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級
県立	盛岡視覚支援	1	1	6	3	3	2	9	4	7	5	26	15
	盛岡聴覚支援	4	2	3	2	15	4	16	6	1	1	39	15
	盛岡となん支援			61	22	40	15	27	12			128	49
	盛岡青松支援			6	3	13	5	16	7			35	15
	盛岡峰南高等支援							97	12			97	12
	盛岡みたけ支援			74	21	49	10	66	13			189	44
	同奥中山校			7	4	8	3					15	7
	盛岡ひがし支援			62	16	38	10	43	10			143	36
	花巻清風支援			60	19	44	13	67	13			171	45
	前沢明峰支援			32	12	27	8	71	14			130	34
	一関清明支援	3	2	51	20	42	15	59	17			155	54
	気仙光陵支援			20	8	10	4	27	5			57	17
	釜石祥雲支援			22	8	15	7	30	9			67	24
	宮古恵風支援			16	6	17	4	39	9			72	19
久慈拓陽支援			28	8	15	5	31	6			74	19	
小計		8	5	448	152	336	105	598	137	8	6	1398	405
国立	岩大附属			15	3	18	3	20	3			53	9
私立	三愛学舎							36	3	21	2	57	5
小計				15	3	18	3	56	6	21	2	110	14
合計		8	5	463	155	354	108	654	143	29	8	1508	419
増減(前年度比較)		-1	0	-18	-6	+6	-2	-57	2	-5	+1	-75	-5

○医療的ケア児に係る看護職員の配置

☑特別支援学校における看護師の配置【済】

10校45名の医療的ケアが必要な児童生徒を対象に、看護師53名を任用して対応している。

○県民向け公開講座

☑県民向け公開講座や広報活動の実施【済】 ※両日ともオンラインで開催

・子ども未来支援セミナー

〔1回目〕 令和4年9月25日（日） 参加者124名

講演「子どもの生きる力を育むために私たち親ができること」

講師、講演家 平塚英子氏

〔2回目〕 令和4年10月16日（日） 参加者155名

講演「早期からの適切な療育～将来の自立に向けて～」

学校心理士・ガイダンスカウンセラー 山内康彦氏

・いわてこども発達支援サポートブック

各種研修会や会議等における紹介、ポスターの掲示等

○特別支援教育サポーター養成

☑特別支援教育サポーター養成講座の開催【済】

今年度は、盛岡となん支援学校、一関清明支援学校、宮古恵風支援学校の3校において、特別支援教育サポーター養成講座（全8回）を開催し、特別支援教育に関する県民の理解及び地域とともにある学校づくりにつなげた。

〔盛岡となん支援学校〕

開催回数	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
8回	111名	17名	14名

〔一関清明支援学校〕

開催回数	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
8回	106名	17名	14名

〔宮古恵風支援学校〕

開催回数	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
8回	134名	24名	17名

★スポーツ活動、文化芸術活動を通じた生きがづくり、地域とのつながりづくり

☑岩手県特別支援学校作品展等の周知【済】

関係機関への案内文書のほか、広報誌等を通じて広く周知した。

令和4年11月18日（金）～20日（日） 盛岡地域交流センター「マリオス」

☑各団体等と連携した事業の実施【取組中】

県文化スポーツ部、県教育委員会事務局において各種事業を実施し、幅広い分野のスポーツ活動、文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げた。

文化振興課

- ・いわてアール・ブリュット巡回展 2022
〔大船渡会場〕 令和4年9月17日（土）～9月30日（金）
南三陸ショッピングセンターサン・リア
〔盛岡会場〕 令和5年1月14日（土）～1月29日（日）岩手教育会館ふれあいギャラリー
〔防潮堤への作品展示〕 令和4年9月23日（金・祝日）～10月14日（金）大船渡市野々田地区
※大船渡会場の巡回展と連動して、防潮堤へアール・ブリュット作品を展示。
- ・いわてアール・ブリュットの世界展（東京2020パラリンピック1周年記念イベントへのブース出展）
令和4年8月24日（水）有明アリーナ（東京都江東区）
- ・いしがきミュージックフェスティバル 2022
令和4年9月23日（金・祝日）カワトクステージほか5会場
主催 いしがきミュージックフェスティバル実行委員会
共催 岩手県障がい者文化芸術祭実行委員会
出演 KING GUNs and ROUGE GUNs、のびっこ療育センター
- ・障がいのある人の創作・表現活動支援に関する研修会～福祉的支援からアート支援へ
令和4年10月7日（金）盛岡市中央公民館
講師 しゃかいのくすり研究所 代表
るんびにい美術館 アートディレクター 板垣崇志氏
- ・第30回岩手県障がい者文化芸術祭
〔応募作品展〕 令和4年11月24日（木）～12月19日（月）ふれあいランド岩手
〔記念式典（応募作品展表彰式）〕 令和4年12月18日（日）ふれあいランド岩手
〔ふれあい音楽祭2022〕 令和4年12月3日（土）ふれあいランド岩手
- ・創作活動に関する権利保護研修会
令和4年8月23日（火）紫波町情報交流館
講師 石川法律事務所 弁護士 松岡佑哉氏
一般社団法人たんぽぽの家 後安美紀氏、大井卓也氏
- ・外部有識者による協力委員会
年間2回開催

スポーツ振興課

- ・スポーツ教室

教室名	実施回数	備考
ボッチャ教室	2	
グランドゴルフ教室	4	
登山教室	2	
ハンドバイク教室	1	
ヨガ教室	1	
ゲートボール教室	2	
卓球バレー教室	3	

スキー交流会	1	
ボウリング交流会	1	
STT 教室	2	
ウォーキング	2	※雨天の際は室内で実施できる競技

・障がい者スポーツ指導員養成

障がい者スポーツ指導員養成講習会（初級障がい者スポーツ指導員養成講習会、中級障がい者スポーツ指導員養成講習会、フォローアップ研修会）を開催

・インクルーシブスポーツ推進事業

障がいのある人もない人も共に楽しめる共生社会型スポーツの充実を図るため、地域推進体制の構築、指導員養成、体験教室・練習会、交流大会開催を県内各地で実施

〔県央会場（盛岡市）〕 ボッチャ交流大会 令和4年9月10日（土）

〔県央会場（盛岡市）〕 卓球バレー交流大会 令和4年10月16日（日）

〔沿岸会場（大船渡市）〕 ボッチャ交流大会 令和4年12月4日（日）

〔沿岸会場（久慈市）〕 卓球バレー交流大会 令和4年10月9日（日）

・岩手県障がい者スポーツ大会

月日	種目	会場
令和4年5月15日（日）	ボッチャ	ふれあいランド岩手
令和4年6月4日（土）	陸上	岩手県営運動公園
	フライングディスク	
	卓球	ふれあいランド岩手
	アーチェリー	
	水泳	
ボウリング	盛岡スターレーン	

・パラリンピック選手等育成・強化事業

本県ゆかりの障がい者スポーツ選手を強化指定選手として指定し、国際大会、全国大会出場等の競技活動に要する経費の一部を補助

・いわてパラアスリート発掘・育成事業

将来性のある人材の発掘やアスリートとして活動するための専門的な知識・トレーニング方法等の研修を実施

（令和4年度：年間2回の全体研修、3団体による4競技の競技別研修）

・デュアル・アスリートプロジェクト事業

いわて障がい者スポーツ強化指定選手、いわてパラアスリート発掘・育成事業参加選手等を対象に冬季パラリンピック等競技種目の練習を実施

（令和4年度：車いすカーリング、スキー競技）

・パラスポーツギア購入・整備事業

高性能なパラリンピック競技用具等を購入・整備

（令和4年度：陸上競技用車いす、チェアスキー）

・パラアスリートコーディネーター派遣事業

選手の所属先や居住地域の体育施設等への巡回訪問による練習環境の整備

生涯学習文化財課

・令和4年度岩手県「障がい者の生涯を通じた学習活動」に関する庁内連携会議

令和4年6月16日（木） 県庁10階 教育委員会委員室

出席室課 文化振興課、スポーツ振興課、障がい保健福祉課、学校教育室、保健体育課
協議内容

- (1) 障がい者の生涯を通じた多様な学習活動の充実について（生涯学習文化財課）
- (2) 令和3年度 of 取組（実績）について（生涯学習文化財課）
- (3) 令和4年度 of 取組について（生涯学習文化財課）
- (4) 関係各室課担当から

・人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（中部地区）

令和4年7月1日（金） るんびにい美術館 参加者12名

演習

「美術館の作家さんと出会う！」～障がいのある作家さんとののであい授業～

講師 るんびにい美術館 在籍利用者 小林 覚 氏

しゃかいのくすり研究所代表

るんびにい美術館アートディレクター 板垣 崇志 氏

講義

「社会で共に学び、生きるということ」～るんびにい美術館の取り組みから～

講師 しゃかいのくすり研究所代表

るんびにい美術館アートディレクター 板垣 崇志 氏

・センター・公民館・主管課職員等セミナー

令和4年9月13日（火） 生涯学習推進センター 参加者16名

説明

「障がい者の生涯学習推進における現状と課題」

説明者 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 社会教育主事 阿部 貴弘

演習

「ボッチャ体験」

講師 県スポーツ振興課 主査スポーツ振興専門員 菊池 大輔 氏

講義・演習

「障がいの多様性の理解と、関係機関と連携した生涯学習事業の新たな学習プログラムの企画・展開」

講師 紫波町教育委員会事務局教育部学校教育課 CSコーディネーター 佐々木 勉 氏

・人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（県南地区）

令和4年10月12日（水） 奥州市江刺総合支所 参加者10名

説明

「障がい者の生涯学習推進について」

説明者 岩手県立生涯学習推進センター 主任社会教育主事 佐藤 真

事例発表1

「障がい者の生涯学習支援モデル事業に取り組んで」

講師 能代市中央公民館（秋田県） 係長 佐藤 邦彦 氏

事例発表2

「障がい者の社会参加と自立を支援する講座の開設」

講師 福島市中央学習センター（福島県） 主査 喜古 弘光 氏

意見・感想交流

「障がい者の生涯学習推進に向けたつながりづくり」

・令和4年度「障がい者の生涯を通じた学習活動」市町村担当者研修会

令和4年11月9日（水） 生涯学習推進センター 参加者 28名

行政説明

「障がい者の生涯学習推進について」

説明者 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 社会教育主事 阿部 貴弘

実践発表1

「ぼけっとの会の活動をとおして伝えたいこと」

発表者 ぼけっとの会～重い障がいのある子供たち、人たちの地域生活を豊かにする会～

代表 千葉 淑子 氏

千葉 一步 さん

実践発表2

「ソフトボール活動を通じた知的障がいのある人たちの多様な学びと交流の場づくり」

発表者 知的障がい者ソフトボールチーム「いわてスマイリーズ」マネージャー

江刺寿生会就労継続支援B型ワークセンターわかくさ

サービス管理責任者 高橋 英絵 氏

講演

「視覚障がいのある人の『学びたい思い』に応える」

講演者 桜井記念視覚障がい者のための手で見える博物館 館長 川又 若菜 氏

支える ～教育環境の充実・県民理解の促進～

【成果】

- ・外部専門家・医療等の関係機関との連携等の具体的施策を展開し、多様なニーズに対応した共生社会の理解・啓発や教育環境の整備につなげることができた。
- ・今般の感染症拡大防止策を講じながら、共生社会の実現に向け公開講座の開催やスポーツや文化芸術活動等の生涯学習を通じた豊かな生活づくりと相互理解につながる多様な具体的施策を展開することができた。

【課題】

- ・共生社会形成に向けての県民の理解・啓発に関しては、県民が実感できる状況になるよう、共生社会の具体的イメージや特別支援教育の取組についての情報発信の方法を検討していくこと。
- ・県民を対象とした公開講座やスポーツ・文化芸術活動に焦点を当てた具体的施策については、その目的や内容に応じて、オンラインの活用を含め、より多くの県民が参加できるよう取組の周知を含め、内容の検討を図ること。